観光人類学 II

科目ナンバリング　CUA-202
選択　　2単位

渡部　瑞希

1. 授業の概要（ねらい）

観光地に行くと、気が大きくなってついおカネを使いすぎてしまう…そんな経験はないでしょうか。よくよく考えてみると、観光地の食事や土産物は、いわゆる「相場」よりも少し高めに設定されているとは思いませんか?そうであるにも関わらず、私たちは観光地で思い切り遊んでとにかく消費してしまいます。なぜでしょうか?もしかすると観光は、消費を促すうってつけの産業なのかもしれません。

そこで本講義では、主としてディズニーランドを例に取り上げ、消費が加速する本質をさまざまなパースペクティブから学習していきます。「ついつい買ってしまう」、そんな消費者の欲望を知ることは、「売れる観光商品」を生み出す上でも必要不可欠です。

2. 授業の到達目標

・なぜ人は観光を必要とするのか?その本質を理解する
・なぜ人は過剰消費に向かうのか?消費欲の本質を理解し、消費者の1人である自身の経験に置き換えて思考できる
・「消費する＝売れる」要因を知ることで、観光マーケティングに役立てる

3. 成績評価の方法および基準

平常点30点（受講態度10%、コメントペーパーと事前学習　20%）
試験　70%（講義内の小テスト 30%、期末試験 40%）

4. 教科書・参考文献

参考文献
ボードリヤール・ジャン1995『消費社会の神話と構造』紀伊國屋書店　橋本和也2011『観光経験の人類学』世界思想ゼミナール　リッツァ・ジョージ2009『消費社会の魔術的位相−ディズニーワールドからサイバーモールまで』明石書店
ブライマン、A、2004『ディズニー化する社会―文化・消費・労働とグローバリゼーション』明石書店

5. 準備学修の内容

・授業でとりあげるテーマに関連する情報を、事前学習として授業前に読んでおく（→理解度が変わります）。
・講義後にコメントペーパーor課題を提示します。

6. その他履修上の注意事項

講義形式の授業ですが、人数次第では現地実習が入ります。各、5000円から6000円程度かかります。
講義内で提示した事例や理論に対し、自身も1人の消費者として常に考えながら講義に望んでください。当然のことながら私語は厳禁。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　人はなぜ観光を必要とするのか―消費の基礎理論から
【第3回】　観光客は観光の現場で何を消費しているのか―観光人類学の基礎理論から
【第4回】　観光消費のメカニズム①―マクドナルド化と魔術的消費
【第5回】　観光消費のメカニズム②―ハイパー・リアリティとバーチャル・リアリティ
【第6回】　小テスト・現地実習の方法論
【第7回】　ディズニーのアニメーション戦略―ターゲティングからストーリーの作成へ
【第8回】　ディズニーの空間配置―合理的に創られた「夢と魔法の国」
【第9回】　アトラクションのしかけ
【第10回】　ディズニーの商品戦略
【第11回】　ディズニーのホスピタリティ
【第12回】　ディズニーの人材育成
【第13回】　現地実習
【第14回】　実習報告
【第15回】　まとめ